

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

埼玉県 深谷市

自治体名：埼玉県深谷市

担当課名：学校教育課

電話番号：048-572-9578

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	138 km ²
人口	136,627人
公立中学校数	10 校
公立中学校生徒数	3,486 人
部活動数	126 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向け準備中

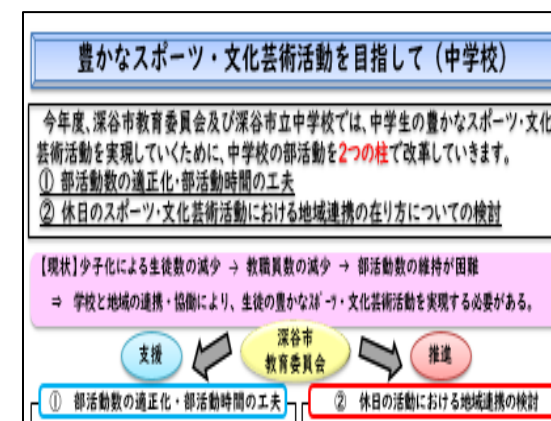
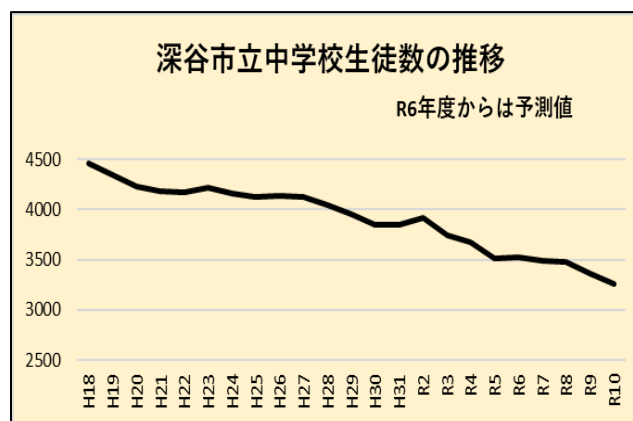
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

深谷市の現状としては、国や埼玉県と同様、少子化がもたらす教育活動への影響が大きな課題となっている。平成18年の深谷市合併時と令和6年度の中学校の生徒数を比較すると、979人も減少している現状があり、生徒数の減少を踏まえた教育活動の在り方が課題となっている。

そのような中で、生徒数の減少に伴い、教員数も減少することから、学校部活動を進めていく上で、今までどおりの部活動数を維持することが困難となっており、部活動の安全な実施と教員の負担軽減を踏まえ、計画的に部活動数を削

減し、数の適正化を図っていくことなども取り組むべき喫緊の課題となっている。

そこで、本市においては、県の方針を参酌しながら、「① 部活動数の適正化と部活動時間の工夫」と「② 休日の活動における地域連携の検討」の2つの柱を据え、学校教育全般に渡っての総合的な取組を進めながら、部活動改革に取り組んでいく。

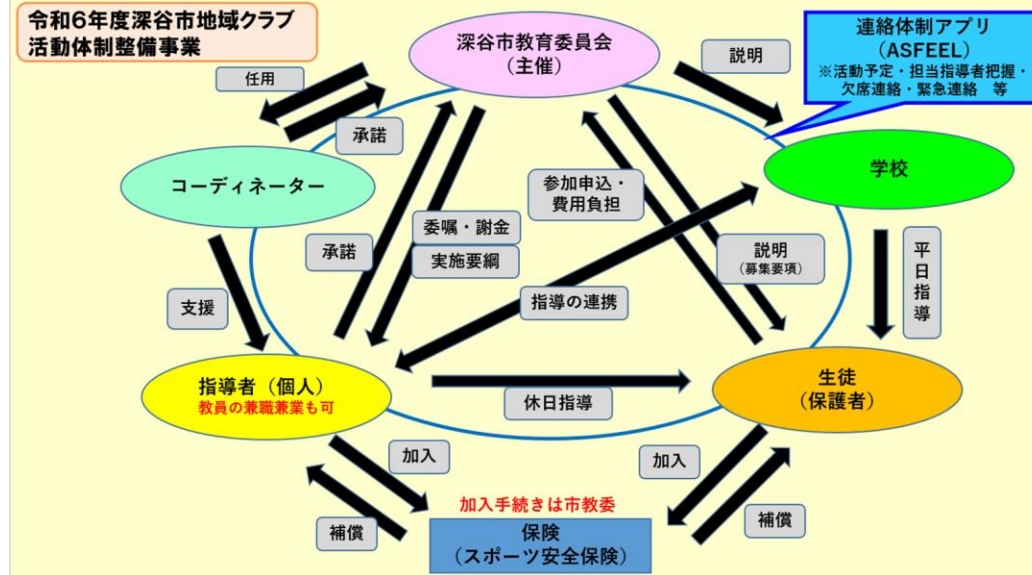


深谷市教育委員会より「こころざし」第60号より（令和5年10月）

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（学校教育課）

- ・本事業において必要な体制を整備するとともに、検討委員会を開催する。また、実施団体（指導者）やコーディネーター、学校（顧問）と連携を図りながら、事業を進める。

◎教育委員会（生涯学習スポーツ振興課）

- ・市スポーツ協会等、地域のスポーツ団体との連携を図り、本事業において、必要な人材を確保する。

◎首長部局（財政課）

- ・本事業において必要な予算を確保する。

年間の事業スケジュール

令和6年 5月	（総括）コーディネーターの任用、第1回検討委員会の開催
令和6年 6月	協力可能団体の募集、中学校長への説明
令和6年 7月	実証事業実施部及び指導者の決定
令和6年 8月	第2回検討委員会の開催、保護者説明、参加希望調査、保健への加入手続き
令和6年 9月	実証事業の開始、参加費の徴収、コーディネーターによる巡回
令和6年 12月	第3回検討委員会の開催
令和7年 2月	実証事業終了、第4回検討委員会の開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	10 校	実施した地域クラブ総数	5 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		5 クラブ（5 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	31 人	全体の運営スタッフ数	31 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
深谷市地域クラブ活動	教育委員会	卓球	月 4 回程度 （年 2 0 回）	土曜日 8:30～ 11:30	1年：17人 2年：10人	9月～2月	当該中学校体育館	10人	10人	1 回200円 保険料800円	中体連：部活動
深谷市地域クラブ活動	教育委員会	剣道	月 4 回程度 （年 1 9 回）	土曜日 8:30～ 11:30	1年：4人	9月～2月	当該中学校体育館	3 人	3 人	1 回200円 保険料800円	中体連：部活動
深谷市地域クラブ活動	教育委員会	ラグビー	月 3 回程度 （年 1 3 回）	土曜日 15:00～ 18:00	1年：4人 2年：1人 3年：1人	9月～2月	団体保有施設（ラグビー場）	4 人	4 人	1 回200円 保険料800円	中体連：部活動
深谷市地域クラブ活動	教育委員会	バドミントン	月 4 回程度 （年 2 0 回）	土曜日 13:00～ 16:00	1年：4人 2年：9人	9月～1月	当該中学校体育館	7 人	7 人	1 回200円 保険料800円	中体連：部活動
深谷市地域クラブ活動	教育委員会	ソフトテニス	月 3 回程度 （年 5 回）	土曜日 8:30～ 11:30	1年：4人	12月～2月	当該中学校校庭	7 人	7 人	1 回200円 保険料800円	中体連：部活動

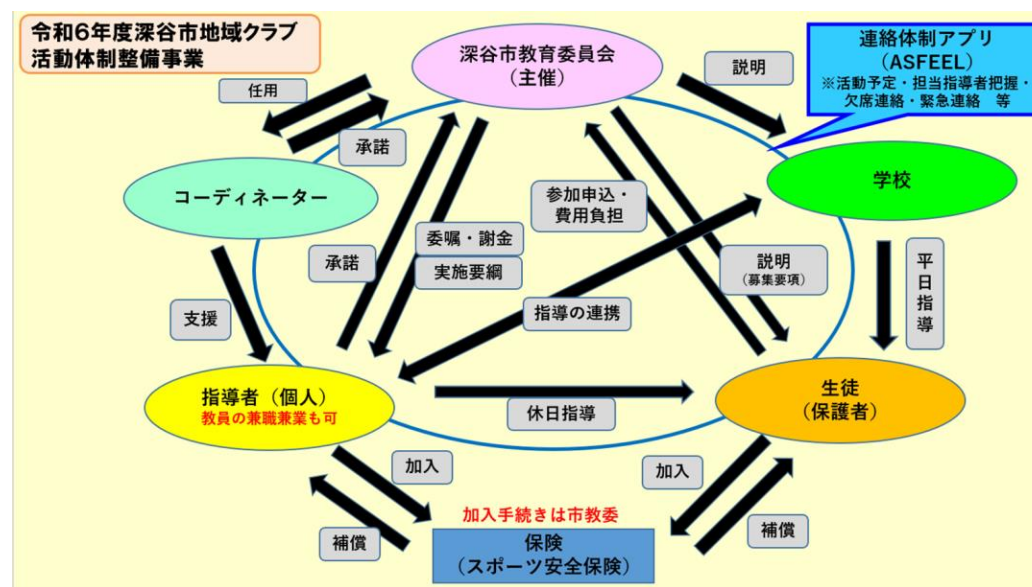
2.実証内容と成果

主な取組例

● 深谷市地域クラブ活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球、剣道、ラグビー、バドミントン、ソフトテニス
運営団体名	深谷市地域クラブ活動
期間と日数	卓球：9月7日～2月1日 月4回程度 剣道：9月7日～2月1日 月4回程度 ラグビー：9月7日～1月25日 月3回程度 バドミントン：9月7日～2月1日 月4回程度 ソフトテニス：12月28日～2月1日 月4回程度
指導者の主な属性	地域スポーツ団体・総合型スポーツクラブ・教員
活動場所	学校施設及び総合型地域スポーツクラブ 保有施設
主な移動手段	自転車、徒歩、保護者の判断で自家用車
1人あたりの参加会費等（年額）	全活動 200円（参加費）×活動日数 +保険料（800円）
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

● 総括コーディネーター 1 名 ・ コーディネーター 1 名

役割：地域クラブ活動を円滑に進めていくための学校及び関係団体との連絡調整やマッチング、地域クラブ活動検討委員会等の運営、指導者の確保等を行う。また、地域クラブ活動の活動開始後は、指導者の活動記録の整理、参加費の徴収、各活動場所において指導が安全かつ適切に行われているか、参加生徒に困り感はないかなどの巡回指導を行う。

● 指導者 31 名

役割：各種目の技術指導をとおして、生徒の健全育成を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・本事業を進めていく上で、様々な関係者から意見を聞きながら進めるために、「深谷市地域クラブ活動検討委員会」を設置し、計4回の協議会を実施した。
- ・総括コーディネーター及びコーディネーターを会計年度任用職員として任用し、活動が円滑に進むように体制を整備した。
- ・連絡ツールとして、ASFEEL株式会社の「部活アプリ」を活用することで、事務局・総括コーディネーター・指導者・保護者の連絡体制を整えた。

取組の成果

- ・深谷市のスポーツ・文化団体の代表者や学校関係の代表者で組織された、「深谷市地域クラブ活動検討委員会」を立ち上げ、計4回の協議会を実施することで、関係する方々の協力や理解を得ながら進めることができた。また、長期的な視野で、今後、深谷市の部活動をどのように実施していくのかといった内容についても検討を始めることができた。
- ・今年度、計20日の活動日の中で、19日の活動において、総括コーディネーター及びコーディネーターが活動の様子を巡回し、指導等において指導者に助言しながら、活動を進めることができた。
- ・連絡ツールとして「部活アプリ」を活用することで、個人情報のやりとりをすることなく、関係者間での連絡体制を整えることができた。また、アンケートの実施や実践報告会の案内など、事務局からの連絡もアプリを活用して周知することができた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

【総括コーディネーター及びコーディネーター】

- ・地域クラブ活動を円滑に進めていくための学校及び関係団体との連絡調整やマッチング、地域クラブ活動検討委員会等の運営、指導者の確保等を行った。また、地域クラブ活動の活動開始後は、指導者の活動記録の整理、参加費の徴収、各活動場所において指導が安全かつ適切に行われているか、参加生徒に困り感はないかなどの巡回指導を行った。

(活動開始前：週2日勤務 活動開始後：週3日勤務)

今後の課題と対応方針

教育委員会が運営団体になることは、業務量的に大きな課題がある。今年度は、総括コーディネーター及びコーディネーターを新たに会計年度任用職員として任用し、事務的な業務にも従事してもらったが、事業拡大のためには、そちらなる運営体制の整備が必要である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

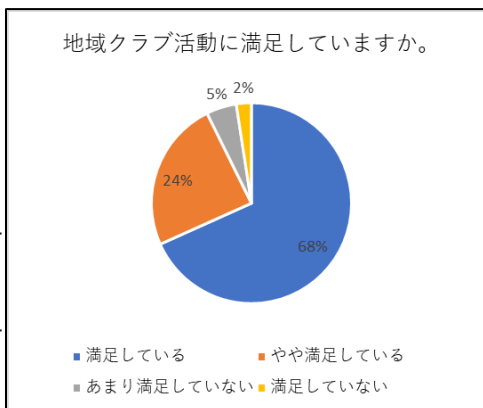
●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保 / ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項（イ）

- ・指導者の質を確保するために、指導者の応募条件として「指導資格を有すること、または、1年以上児童生徒への指導経験があること」とした。
- ・指導者の量を確保するために、深谷市スポーツ協会及び総合型地域スポーツクラブ代表者と連携を取るほか、学校への周知活動を行った。

取組の成果（イ）

参加した中学生を対象としたアンケート（グラフ1）では、「地域クラブ活動に満足したか」という質問に対し、回答者92%が「満足している」「やや満足している」と答えた。その理由として、「種目に特化した指導者に教えてもらったから」「教え方が上手で分かりやすかった」といった意見があった。



グラフ1 参加生徒アンケートより

今後の課題と対応方針（イ）

今後事業が拡大し、多くの指導者が生徒の指導に携わることになると、指導者の質の確保・向上が課題となる。市として指導者の質を確保・向上するために、研修会等の実施を検討していく。

取組事項（ウ）

- ・指導者の確保や施設の利用について、市スポーツ関係団体や学校等と、連携を教化した。
- ・指導者の派遣について、深谷市スポーツ協会及び総合型地域スポーツクラブの協力を得た。

取組の成果（ウ）

- ・校長会等で、各中学校長に十分な理解を求めることで、活動するための場所については、学校を基本とし、問題なく確保することができた。
- ・より広いスペースを求め、公民館でも活動を行った。その際は、教育委員会の取組として、減免での利用が可能となった。



各中学校への取組周知のための資料

今後の課題と対応方針（ウ）

今後事業を拡大していくことになると、さらに様々な団体との連携を図っていくことが必要となる。そのため、今年度の事業について、広く周知する機会を確保し、協力を得ていくようにする。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

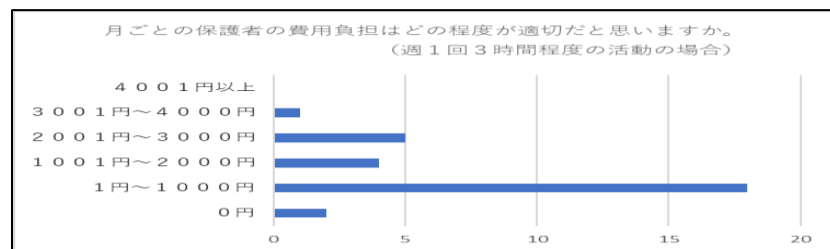
●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等 / キ：学校施設の活用等

取組事項（カ）

- ・ 本事業の趣旨を保護者に説明し、一定程度、受益者負担とした。
全活動一律：200円（参加費）×活動日数+保険料（800円）
- ・ 地域クラブに参加する困窮世帯に対して、必要な経費を支援した。

取組の成果（カ）

- ・ 保護者会を開催し、丁寧な説明を行うことで、受益者負担額を増額させた。（負担額については令和5年度のアンケートをもとに決定）結果として、参加費徴収を理由に、活動に参加しなかった生徒はいなかった。
- ・ 就学援助世帯に対しては、活動費は徴収しない措置をとった。その結果、活動費を理由とした活動への不参加生徒はいなかった。



グラフ2 保護者アンケートより

今後の課題と対応方針（カ）

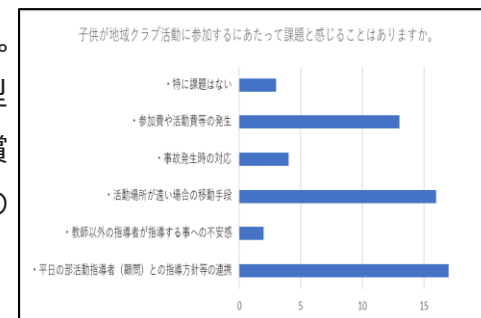
- ・ 今後の持続可能性を考えると、少しずつ受益者負担の額を上げていく必要がある。今後も保護者のアンケートを参考にしながら、検討していく。
- ・ 就学援助世帯に対しては、引き続き参加費の一部免除等の措置を講じていく。

取組事項（キ）

- ・ 今年度実施した5活動のうち4活動は当該学校の体育館・校庭での活動を基本とした。また、備品については、学校の備品を使用した。
- ・ ラグビーについては、総合型地域スポーツクラブの保有施設を活用したが、総合型地域スポーツクラブと合同での使用のため無償で使用できた。
- ・ 体育館を使用した3活動における鍵の借用方法については、各校と連携し校長の判断でそれぞれ対応した。

取組の成果（キ）

- ・ 使用した施設や備品等に、何か問題があった時はすぐに事務局に報告できるよう、連絡体制を確保した。
- ・ ラグビーの活動については、総合型地域スポーツクラブ保有施設を無償で使うことができたが、学校での活動と比べ、やや遠いため、生徒の行き帰りを心配する声もあった。



グラフ3 保護者アンケートより

今後の課題と対応方針（キ）

体育館での活動の場合、他部活が練習試合等を行うと、活動ができなくなってしまうことがあった。今年度は適宜、公民館等を活用したが、実証開始前から計画的に活動場所を確保していく必要がある。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和5年度の3活動から5活動に規模を拡大して、円滑に実証事業を行うことができた。また、実証開始時期も昨年度と比較すると2か月以上早く開始することができ、活動体制づくり等で前年度の成果が十分に生かされたと考える。

また、事業拡大につき、総括コーディネーター及びコーディネーターを会計年度任用職員として、5月から2月まで任用した。前年度は活動の巡回のみの業務であったが、今年度は、それに加えて学校及び関係団体との連絡調整やマッチング、地域クラブ活動検討委員会等の運営、指導者の確保等の事務事業にも従事してもらうことで、教育委員会の負担軽減にもつながった。

受益者負担については、昨年度の保護者アンケートをもとに、負担額を増額させたところではあるが、補助金があるために設定できる額である。今後、負担額を上げていく必要はあると考えるが、そのためには、「部活動との違い」や「受益者負担の必要性」について、保護者や生徒に十分周知していく必要がある。

不平等感を生まない活動にできるよう、今後も行い方の検討を進めていく。

●成果の評価

- ・ 参加している生徒の満足度が高く、充実した活動が展開できた。
- ・ 様々な地域の指導者が指導に携わることにより、地域の大人に対して、スポーツをととして敬意をもった振る舞いが身についた。
- ・ 連絡アプリを活用し、指導者同士が綿密に指導日の調整を図りながら、指導予定を立てられた。活動内容についても中心となる指導者からこまめな情報が発信され、情報や指導の共有化が図られた。
- ・ 活動によっては、若い方も指導者登録をし、ベテランの指導者とともに指導を行うことで、活動を持続可能なものにしていく体制づくりが図られた。

●今後に向けて

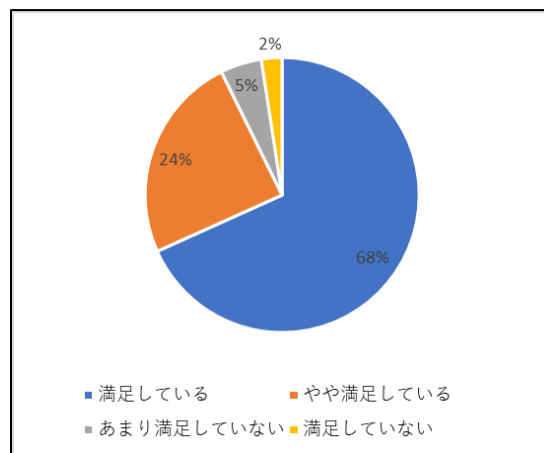
- ・ 継続的に定着して参加していただける指導者を確保していく必要がある。
- ・ 地域クラブ活動の広がりによって、中学生のスポーツ・文化活動がどのように変わっていくのか、イメージを共有していく必要がある。
(教職員、保護者を含めた地域住民に対して)
- ・ 人件費を含めた地域クラブ活動の財源の見通しを考えていく必要がある。
(保護者の経済的負担を最小限に抑えるための手立てを含めて)
- ・ 長期的な視野で中学校の部活動の在り方について検討していく必要がある。

2.実証内容と成果

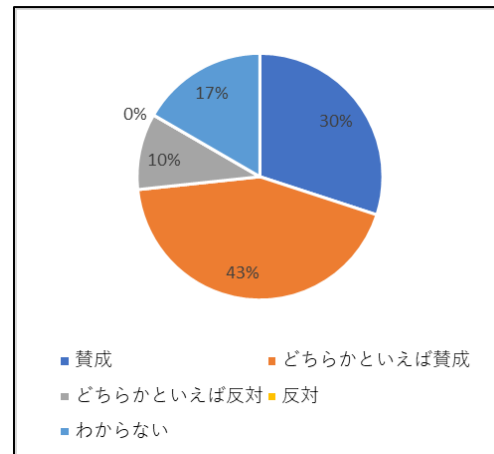
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

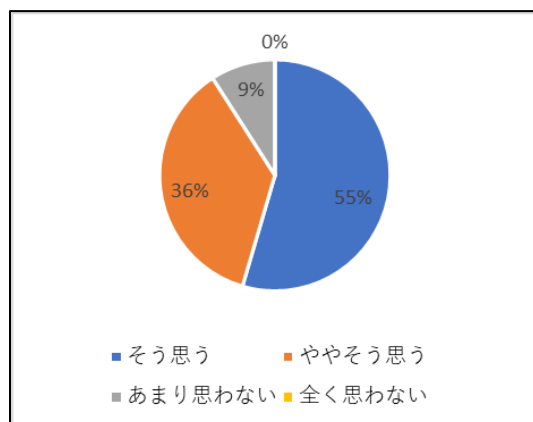
Q.地域クラブ活動に満足していますか？
(参加生徒アンケートより)



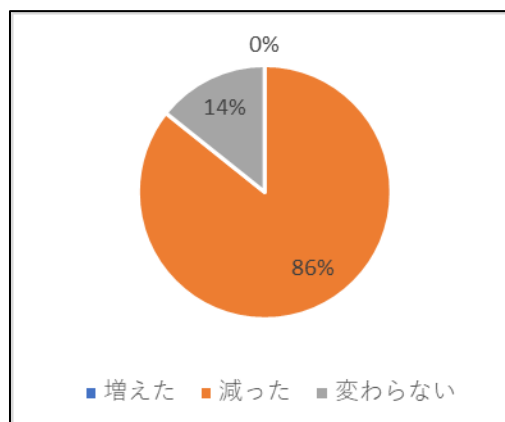
Q.土日の活動が地域に移行していくことについて、どう思いますか？(保護者アンケートより)



Q.今後も地域クラブ活動での指導に従事したいと思いますか？(指導者アンケートより)



Q.地域クラブ活動開始以降、部活動への負担はどう変化しましたか？(顧問アンケートより)



●参加者の声

中学2年生

普段の部活ではわからなかったことがわかるようになり、活動に満足している。いろいろなことを教わり、もっと上手になりたいと思うので、これからも活動が行われるのであれば参加したい。

保護者

学校側、地域側双方にとって無理のないように運営ができればよいと考える。その中で、複数の指導者から教わることで、子供達が不安や戸惑いのないようにしていただければと思う。

指導者(など)

子供達が活動に取り組む意識が高く、数か月の取組ではあったが、子供達の飛躍的な成長がみられてよかった。消耗品の購入がスムーズに行えると、より活動が充実したのではないかと感じる。

顧問

休日に出勤する負担がかなり減った。また、指導者が多数参加してくれたおかげで、生徒の成長の幅が広がったと感じる。通常の連絡については、アプリが効果的であると思ったが、緊急時の連絡については不安が残る。

2.実証内容と成果

広報資料

本事業を拡大していくためには、現在の本市の取組について、幅広い周知を図っていく必要がある。そのため、今年度は、校長会で取組内容について周知するだけでなく、顧問を対象にした説明会や実践報告会、地域の

方々を対象にした実践報告会、また、市スポーツ協会の理事会での説明等を行った。また、年度途中からは、教育委員会が学校を訪問する際に、全ての教職員に対して、直接取組内容の周知を行った。

令和6年度 深谷市地域クラブ活動実践報告会








◇ 地域と連携した活動を行っていくために、今年度、市内5部活で実証事業を行いました。

◇ 実証事業を行うことで、見えてきた成果や課題等について報告します。

◇ 参加者の皆様方との意見交換やグループ協議の時間も予定しています。

◆参加者募集◆ **参加無料 先着100名様**

日時：令和7年3月18日(火) 18時より

場所：深谷市役所3階 大会議室

参加対象者：地域スポーツ団体・文化団体関係者、教職員、地域クラブ活動に興味・関心のある方等

応募期間：2月20日(木)～3月13日(木)

※定員に達した場合、上記よりも前に締め切ることがあります。

応募については以下のURLまたは右のQRコード参照

URL <https://forms.office.com/r/VVUDv8Hx4X>



【お問い合わせ】 深谷市教育委員会学校教育課 048-572-9578

【実践報告会 開催チラシ】

部活動の地域移行・地域連携に関する深谷市の取組

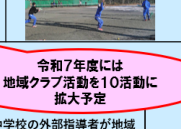
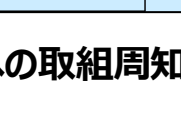
令和7年2月14日
深谷市教育委員会

国：学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン（R4.12）
県：埼玉県地域クラブ活動推進計画（R6.3）

➡ 改革推進期間（令和5年度から令和7年度）

（深谷市） 休日の部活動において、地域と連携しながら進める方法を検討（令和5年度より国の補助事業に参加）

市内5つの活動で「地域クラブ活動」を実施 知っておきたいポイント

卓球（岡部中） 生徒：27名 指導者：10名	顧問2名を含めた、指導者10名が指導のローテーションを組み、1回につき3名程度で指導に当たっている。	
剣道（川本中） 生徒：4名 指導者：3名	専門的な指導力を有する指導者が中心となり、顧問とともに指導を行っている。顧問も指導方法を学んでいる。	
ラグビー（南中） 生徒：6名 指導者：4名	団体保有施設を使い、総合型地域スポーツクラブの指導者が、クラブに所属している生徒を含めて指導している。	
バドミントン（豊里中） 生徒：13名 指導者：5名	外部指導者として携わってきた指導者が中心となって指導をしているため、平日の練習と指導が一貫しやすい。	
ソフトテニス（豊里中） 生徒：4名 指導者：7名	顧問の教え子が地域の指導者として、顧問とともに指導に当たること、今後地域で指導できる体制を整備している。	

この他にも「センター方式」での実施を検討中

「センター方式」とは・・・？
 近隣の学校の生徒が1箇所に集まり、地域クラブ活動を行う。
 例）A中学校、B中学校の剣道部の生徒が、A中学校に集まり、両顧問とA中学校の外部指導者が地域クラブ活動の指導者として指導する。 など

令和7年度には
地域クラブ活動を10活動に
拡大予定

① いつ地域クラブ活動を行うかは、顧問と地域の指導者で決めます。
➡ 「必ず毎週やらなければならない」というわけではありません。

② 教員も兼業申請をすることで指導することができます。
➡ 休日も「地域の指導者」として指導することもできます。

③ 指導者謝金として、時給1600円が支払われます。
➡ 現在は、休日1回（3時間）の指導でおよそ4800円の謝金と交通費が支払われています。

④ 地域の指導者と連携を取りながら活動します。
➡ 専用アプリ（指導者は無料）を活用することで、顧問と地域の指導者の連絡が容易にできます。

⑤ 対象部に所属する生徒の保護者には、教育委員会から説明します。（保護者説明会の開催）
➡ 事業の趣旨説明や受益者負担の依頼は、実施主体の教育委員会から説明します。

もう少し詳しく知りたい方は、右のQRコードを学校用iPadで読み取り、資料をご参照ください。また、ご不明な点があれば、学校教育課 担当 鳥塚までご連絡ください。
 なお、先生方のお知り合いで、地域の指導者として、休日の指導に携わってくださる方がいましたら情報をいただけるとありがたいです。



【各中学校への取組周知のための資料】

2.実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【実証事業（卓球）の活動の様子】

顧問を含め指導者10名が3名ずつのローテーションを組んで指導



【実証事業（剣道）の活動の様子】

ICT端末や自作の教具を活用し、初心者の生徒にもわかりやすい指導を工夫



【実証事業（ラグビー）の活動の様子】

総合型地域スポーツクラブの指導者が保有施設を用いて指導



【実証事業（バドミントン）の活動の様子】

外部指導者として指導に携わっていた地域の指導者が中心となって指導

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年度

中学校長とのヒアリング
市スポーツ・文化団体代表者
との意見交換

- ステークホルダー
 - ・各中学校長
 - ・市スポーツ団体代表者
 - ・市文化団体代表者
- 経過
 - ・各中学校における部活動実施の課題の聴取
 - ・国や県の動向についての情報提供
- 実施にあたって生じた課題
 - ・部活動に対する顧問の温度差
 - ・受け皿となる人材確保が困難
- 実施内容、工夫した点
 - ・各関係者に国や県の動きについて情報は提供し、今後、休日の活動については、地域と連携していく必要が不可欠であることを周知した。ただ、市のスポーツ団体代表者からは、受け皿となる人材不足が指摘された。

令和5年度

実証事業への応募・協議
会の設置

- ステークホルダー
 - ・深谷市地域クラブ活動検討委員（市スポーツ・文化団体代表者・学校関係代表者）
- 経過
 - ・検討委員会を開催し、実証事業の実施方法について検討
- 実施にあたって生じた課題
 - ・指導者となる人材の確保
 - ・受益者負担の有無
 - ・連絡体制の整備
 - ・保険への加入
- 実施内容 工夫した点
 - ・事業を開始するまでに3回の検討委員会（協議会）を開催し、課題について、委員の意見を聞きながら進めた。
 - ・事業の持続可能性を確保していくために、500円の受益者負担を実施することとした。

地域クラブ活動の開始

- ステークホルダー
 - ・生徒・保護者
 - ・地域クラブ活動指導者
 - ・総括コーディネーター
- 経過
 - ・事業の趣旨を保護者に直接説明した上で、参加の意向を確認
 - ・アプリを活用した連絡体制の整備
 - ・総括コーディネーターの巡回
- 実施内容、工夫した点
 - ・保護者説明会を開催し、事業の趣旨や受益者負担について説明した。
 - ・連絡体制を整備するために、アプリへの登録についてオンライン説明会を実施した。
 - ・総括コーディネーターを委嘱し、活動の巡視と指導者への助言、事務局への報告を依頼した。

令和6年度

地域クラブ活動の拡大

- ステークホルダー
 - ・深谷市地域クラブ活動検討委員
 - ・教育委員会
- 経過
 - ・全4回の地域クラブ活動検討委員会にて、実証事業の行い方について協議
- 実施にあたって生じた課題
 - ・指導者の確保、体制づくり
- 実施内容、工夫した点
 - ・総括コーディネーター及びコーディネーターを会計年度任用職員として任用した。
 - ・実証事業の活動数を3活動から5活動に拡大した。
 - ・受益者負担額を、200円（参加費）×活動日数＋保険料（800円）とした。
 - ・就学援助世帯に対しては、保険料のみの徴収とした。

令和7年度

地域クラブ活動の
更なる拡大

- ステークホルダー
 - ・深谷市地域クラブ活動検討委員
 - ・教育委員会
- 経過
 - ・令和6年度第4回の地域クラブ活動検討委員会にて、実証事業の行い方について協議
- 実施にあたって生じた課題
 - ・指導者の確保、体制づくり
- 実施内容、工夫していく点
 - ・運動種目について、さらに5活動の拡大を目指す。（全10活動）
 - ・長期的な視点で、平日の部活動の在り方も含めた、地域展開の行い方について、引き続き協議していく。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

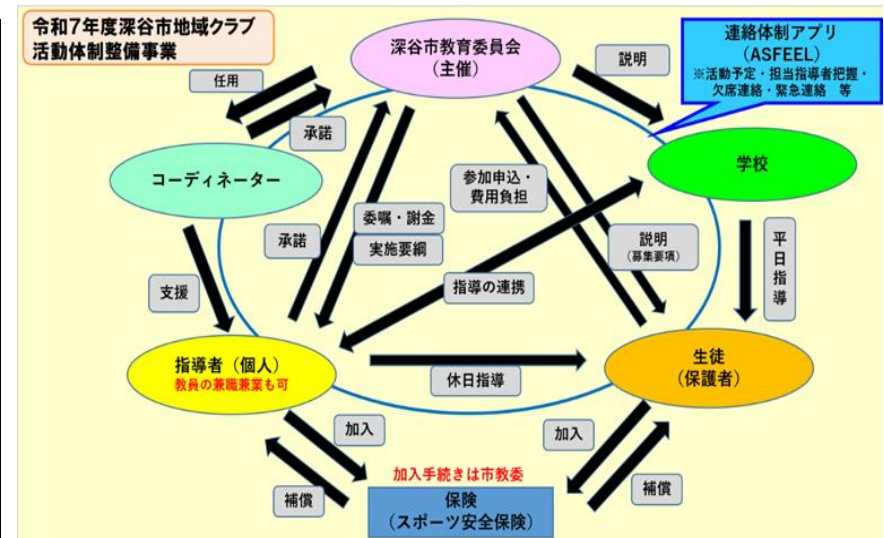
3年間（R5～R7）で地域クラブ活動（休日）を拡大・充実

年度	R5年度	R6年度	R7年度
実施 種目数	3種目程度 (運動種目のみ)	6 種目程度 ※センター方式の実施も検討	10 種目程度 ※センター方式の実施も検討

令和7年度スケジュール

5月	コーディネーターの任用
6月	第1回検討委員会の開催、協力可能団体の募集（指導者の確保）、各中学校長への説明、参加希望部の調査
7月	実証事業実施部及び指導団体の決定、指導者の委嘱、保護者説明会の実施、参加希望調査、保険への加入、消耗品の購入
8月	実証事業開始（随時開始～1月）、参加費の徴収、報酬・謝金手続き、第2回検討委員会の開催
11月	第3回検討委員会の開催
2月	第4回検討委員会の開催、次年度の事業について検討、決算報告書等の作成

令和7年度のイメージ図



令和7年度の実証状況によって、令和8年度の実証方法を検討（実施規模は拡大）